

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

※※2003年12月改訂(第3版、自主改訂)

※2000年9月改訂(第2版、自主改訂)

貯 法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)1134
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

■ 36 ■

漢方製剤

モク ボウ イ トウ

ツムラ木防己湯エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。	
	日局セッコウ……………10.0g	日局ケイヒ……………3.0g
	日局ボウイ……………4.0g	日局ニンジン……………3.0g
性 状	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
	剤 形	顆粒剤
	色	淡灰白色
	におい	特異なにおい
	味	苦味
	識別コード	ツムラ／36

【効能又は効果】

顔色がさえず、咳をとまなう呼吸困難があり、心臓下部に緊張圧重感があるものの心臓、あるいは、腎臓にもとづく疾患、浮腫、心臓性喘息

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれるおそれがある。〕
- 重要な基本的注意
(1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
(1)過敏症：発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
(2)消化器：食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
- 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

【薬効薬理】

※心不全モデルに対する作用

心筋症ウィルスで発症させた心不全モデルマウスに経口投与したところ、生存率及び病理組織学的スコアが改善された¹⁾。

※【包 装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

【主要文献】

※1)W. Z. Wang, et al. : Life Sciences, 62(13)1139(1998)

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

 株式会社ツムラ
東京都中央区日本橋3-4-10

